



不動町の歴史(2)

不動公民館長 岸岡俊憲



四、戦国時代

南新居城(とりで)がありました。この城には勝瑞城主三好氏の家老として堀江藤太夫國広が南の守りを

拠点として造られました。

場所は不動橋北詰(不動本町一丁目八幡神社付近)、

城(とりで)の東にはお不動さん(密厳寺)があり、

このお寺は当時三好氏が領地十二貫(一二〇石)を喜捨したとされ、この辺り一帯は多数の寺院があつて三好氏の寺町として形をととのえていました。

やがて土佐から出てきた長宗我部元親の軍勢が阿波討伐のため勝瑞城をめぐり、有名なか中富川(現在藍住町名田付近)の合戦で堀江藤太夫も戦死し、本城の勝瑞城も

人口男子	1,691
女子	1,801
計	3,492
世帯数	1,379
平成14年12月1日現在	

館 者 憲
 民 任 者 俊
 公 任 者 岡
 行 任 者 岸
 発 任 者 岡
 不 任 者 岸

刷 刷
 印 印
 刷 刷
 株 株
 大 大
 印 印
 刷 刷
 株 株

落とされ阿波は長宗我部氏が領することになりました。

この合戦でお不動さん一帯も長宗我部軍のため焼きはられ、ほとんどの堂塔を失いましたが、後に蜂須賀氏の保護で復旧されています。

この中富川の激戦のため不動地区一帯は南新居城があつたため大きな戦禍をうけました。前に述べました天佐自能和氣神社の件もこのときのお話です。

この時代の東町一〜三丁目には鮎喰川、逆瀬川の氾濫で余り人は住んでいませんでした。なお現在不動西町三丁目にある大日堂は堀江藤太夫を祭つたお堂であり、その付近に墓もありま

す。

五、安土・桃山時代

戦国時代三好氏が勝瑞城

を居城として阿波を治めて

いました。時には上方まで

大軍をくりだしたため、た

くさんの武器や馬具が必要

でした。そこでこれらの製

作にかかすことの出来ない

皮革が大量に必要でした。

これを製造する皮革職人を

勝瑞城のまわりに住ませ

ていました。この人達を

「かわや」といって手厚く

もてなしていたようです。

現在残っている当時の三好

氏の家臣団の名簿(分限帳)

の中に他の職人と同じよう

に「かわや」三十人として

三十石から五十石の知行が

あたえられています。こん

なことからこの時代は「かわや」の人達は武士団でした。

ところが天下統一をめざ

す豊臣秀吉は天正十三年

(一五八五年) 四国征伐の

ため約十万人の大軍を派遣

して阿波の各地で激戦が展

開されました。その中で

も長宗我部氏の本城があつた

一宮城の攻防は大変はげしい

戦いでした。

このとき秀吉は一宮城攻

撃の総大将羽柴秀次に対し

て「敵方は女や子供まで斬

り殺せ」と厳命しています。

というのは長宗我部氏の大

部分が一向門徒衆や雑賀

衆であつたからです。かつて織田信長が天下統一をはじめたところ、もつとも苦しめられたのが雑賀衆や一向門徒衆でありました。

南新居城のあつた付近(東町)には武器製造のため、当然「かわや」職人がおりました。

六、江戸時代

前にも述べましたが土佐

から侵攻してきた長宗我部

元親が中富川の合戦で勝利

をおさめ、それから三年間は阿波を支配しています。

徳島市民憲章

わが徳島市は、美しい眉山の緑と清らかな吉野川の流れに恵まれ、輝かしい伝統と限りない発展性をもった都市です。

わたしたちは、徳島市民であることに誇りと責任をもち、郷土の繁栄とおたがいの幸福をきずくために、みんなで力を合わせ、みんなでやるべき生活のよりどころとして、この憲章を定めます。

- 1 わたしたちは、まごころをもって助け合い、すべての人に親切にしましょう。
- 1 わたしたちは、健康で仕事に励み、明るく楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 わたしたちは、協同生活のきまりを守り、平和で安全な社会をきずきましょう。
- 1 わたしたちは、自然や公共物をたいせつにし、美しい町づくりに努めましょう。
- 1 わたしたちは、豊かな教養を身につけ、すぐれた文化を創造しましょう。

昭和43年10月1日制定

城の勝瑞城も



地域の中で育つ保育所

不 動 保 育 所

保育所は、子どもひとりひとりを大切にしながら、年齢や発達にあった環境づくりをし、家庭的な、くつろいだ雰囲気の中で保育をしています。

不動保育所では、次の様な子ども像をめざしています。(①心もからだも丈夫な子ども ②豊かな感性をもち、生き生きと表現できる子ども ③自分で考え行動できる子ども ④仲間を大切に思いやりのある子ども)に育って行くように、日常の保育に取り組んでいます。



現在〇・一歳児十五名、二歳児七名、三歳児十五名、四歳児十四名、五歳児十六名、計六十七名が兄弟姉妹のように毎日楽しく生活しています。

年々低年齢児保育のニーズが高まり、ゼロ歳児の入所が増えていきます。

保育所では、散歩をはじめ、自然の中での活動を多く取り入れています。

〇・一歳児クラスには乳母車、散歩車を併用しながら、二歳〜五歳児クラスは相当長い距離を歩いてお散歩を楽しんでいます。

様々な自然に触れ、解放された心やからだは満足気です。

玄関に入ると「ワァーいい匂いー!」「今日は何かない?」と給食の時間を楽しみに待ちます。お腹のすいた子ども達は食欲旺盛で、食べ残しはほとんどなしです。「いっぱい遊んで、たっぶり食べ、ぐっすり眠る」この環境が健康な心とからだをつくっているのだと実感させられます。

午前の遊びを充実させるため、デイリープログラムも、〇・一歳児、二歳児、三歳以上の生活は、昼食時間、昼寝の時間など少しずつ違ってきます。

子ども達に無理のない生活を送れるようプログラムを組んでおります。

四、五歳児の保育内容は違っています。

五歳児は、小学校入学前で、秋からは昼寝もなく、地域の行事にも積極的に参加したり、小学校入学に向

けて充実した毎日を送っています。

保育所の特徴の一つ給食は、〇・

一歳、二歳児は、完全給食で、三歳以上児は(こはん)だけ持ってきます。

副食(おかず)やおやつは手作りです。離乳食は毎月の行事食は、調理さんが、好き嫌いをくく切り薄味で調理してくれま

す。おいしい給食を毎日食べています。

子ども達はそんなおいしい給食が大好きです。

保育所の給食献立の提示や献立だより等を通じて保護者との連携を大切にしています。

地域の中の保育所として、子どもさんやお孫さんが保育所に通ってなくても結構です。子育てに悩んでいる方、気軽に保育所に遊びにきて下さい。一緒に話しませんか。

おじいちゃん、おばあちゃん、昔の伝承遊びと一緒に遊んでくれないか?二十一世紀を担う子ども達を地域の方々と共に育てていきたいと思っ



『うさぎ組』で一緒に遊びませんか?

不 動 幼 稚 園

本年度より、子育て支援の一環として、幼稚園へ入る前の子どもと保護者を対象に、専任の先生を置いた『うさぎ組』を作り、月一回幼稚園を開放していただきます。園内で親子が一緒に遊んだり、楽しい園行事に参加したり、子育てに関する講演を聞いたりする等の活動を行い、楽しく子育てや友だち作りができるような場にしていきたいと考えています。

一人で悩んだり不安に思わず、幼稚園の職員や集まった保護者の方々と、おしゃべりをしたり情報交換したりしながら楽しく子育てをしませんか? 気軽に親子で遊びに来て下さい。

「うさぎ組」ってどんなところ? 幼稚園へ入って来ると、「おはよう!」って先生や幼稚園のお兄さんお姉さんが迎えてくれます。リズム室の一角にうさぎ組があり、かわいい手作り名札をつけて、出席ノートに好きなシールをはった場所

で好きな場所



な遊びが楽しめます。ブランコ・すべり台・砂遊び・ままごと・おり紙・お絵かき等々。幼稚園のお兄さんお姉さんとも一緒に遊べます。又、うさぎ組専用の絵本コーナーがあり、親子でゆつたり絵本を楽しみむこともできます。たっぶり遊んだ後は、うさぎ組の先生と一緒に歌を歌ったり、手遊びをしたり、絵本を見たりします。

「もっと遊びたい。」と泣きべそをかいたり「また遊びに来るけんな。」と何度も手をふりながら帰っていく姿が見られ、月一回のうさぎ組をみんな楽しみにしてくれて

います。

「親子ふれあい運動は、とても楽しかったです。家へ帰っても子どもがせがむので、抱っこやじゃんけん遊びを何度もしました。」との保護者の声がかれ、有意義な時間が過ぎたよう

です。



親子のふれあいを大切に! 不動小学校の中野勝邦先生を講師に招いて「親子のふれあい」の大切さについて

うさぎ組の活動内容

6月11日(火)	好きな遊びをしよう!
7月16日(火)	"
9月17日(火)	"
9月22日(日)	運動会の「かわいいお客さま」に参加
10月15日(火)	好きな遊びをしよう!
11月11日(月)	「親子のふれあい」講話と実技
12月17日(火)	子ども会に参加
1月14日(火)	お話しの会に参加
2月19日(水)	生活発表会に参加
3月11日(火)	好きな遊びをしよう!

< 9:30 ~ 11:00 >

この他にも親子で楽しめる活動いろいろ計画しています。



十二月の子ども会では、サンタクロースがプレゼントを持って会いに来てくれます。又『お話し会』では徳島お話しを語る会の三木先生が、楽しいお話しや絵本、手遊びを教えてください。二月には幼稚園児の歌や劇遊び等の発表会を予定しています。

今年度の『うさぎ組』は月一回でしたが、来年度からは月二回の実施を計画しています。活動内容や施設・教材

地域に開かれた学校をめざして

不動小学校

不動小学校では、「心身共に健全で、思いやりの心を持ち、たくましく生きる力を身につけた不動の子どもを育てる」を教育目標に児童一人ひとりを中心にすえた、あたたかい心のふれあう教育を推進しています。

今年度より新学習指導要領が完全実施され、本校でも本格的に「人権総合学習」に取り組んでいます。この学習とおして、地域にも積極的に出かける機会を増やし、地域

設・教材面でもより充実したものにしたい。保護者の方々や子どもたちが楽しく有意義に過ごせる場となるようにしていきたいと思っています。



『うさぎ組』実施の日時や内容は、毎月の総合センターだよりにてお知らせいたします。又、詳しい事が知りたい方は直接幼稚園にお問い合わせください。二、三歳の小さなお子様も参加できます。

『なかよしまつり』

(第一・二学年)

いろいろな生活体験が少なくなっている子ども



特に異年齢の人との交流が出来る子供が増えています。今回の総合的な学習で異年齢の人とのふれあいを通じ、自分より小さい友だちの世話が出来ること、優しく接することが大きな自信になっている子どもも見られます。このような経験をとおし、誰とも仲良くしたり、自分も大切にできる心情を育てるのに役立っています。

『総合センターを調べて』

(第三学年)

また、これまでも不動小学校では、地域教材を扱った実践を行ってきましたが、総合的な学習の時間を利用して、時間的にも制約を受けず子どもたちが主体的に学習に取り組めました。また、安全面でもティームティーチング(TT)として複数の



一・二年生では保・幼・小の連携のなかで、また三年生以上の学年では地域にどしどしでかけ、地域の方々の思いや保護者の願いを知ることによって、あらゆる差別をなくしていく力の基盤にしています。

『不動町の人々のくらしの工夫』

(第四学年)

子どもたちは、地域の人や保護者からの聞き取り学習とおして、自分たちの町の良さや気づき、自分の生まれ育った地域をよく理解することができました。地域教材を開発し、取り組んだことは、『自尊心』を高めるうえで、



『ミートでミート』

(第五学年)

また、調べてきたことをまとめるだけでなく、ふるさとカーニバルなどで友だちや保護者に教えたり、地域の人の前でも発表したりできたことは、子どもたちが自信をもつきっかけにつながったと思います。



『特命リサーチ』

(第六学年)

身に戻り存在するさまざまな差別をなくし、人権を大切にすることが大切であることを知ることに、自分たちも頑張ろうという気持ちが出てきました。今回の総合学習の取り組みは、地域のなかで差別に負けずたくましく生きてきた人たちの生き方に誇りを持つことができたし、自分たちの生き方の参考になることができたと感じています。



地域の大人たちと子どもたちのふれあう機会が少ないなかで、八月のふれあい不動夏まつり、十月の地域を歩くオリエンテーリング大会、十一月のふるさとカーニバル等の行事をとおして、人と人との結びつきを強め、親睦を深めています。子どもたちは一つの行事に参加するというだけでなく、総合学習や人権劇、人権コンサートなどの発表会を無事成功させたことで、達成感・成就感を味わい、自信と誇りを持つ『自尊心』を育成する機会にもなっています。

また、春と秋の年二回行われる廃品回収(資源回収)や公園除草、十二月の鮎喰川堤防除草は、地域の人々と学園教職員との交流を図ったり、

子どもたちにはボランティア精神を培わせたりする場となっており、自分も不動町の一人であるとの自覚を持ち、地域の人々とともにふるさと不動を美しく大切にしていける心を育てていく役割を果たしていきます。



地域や児童の実態に即した実践をするうえで、各方面との連携を図っていくことは重要なことであり、本校のように地域のなかから教材づくりをする以上、絶対に必要です。

人権文化の創造が掲げられた二十一世紀、地域の方々の協力を得て、子どもたちと共に地域に足を運び、共に汗を流すことにより、地域・保護者・学園の教職員、そして子どもたちの連帯意識を育て、不動町全体で差別に立ち向かう基礎となる力を育てていきたいと思っています。

(文責 上田)



いつも心に音楽を

—不動中の音楽教育—

不動中学校

- ① いさつ
- ② つしよけんめい
- ③ つくしき
- ④ がお
- ⑤ もいやり

本校ではこの「あいうえお」を合い言葉に、音楽活動に取り組んでいます。

●阿波踊りの鳴り物に挑戦
 昨年度より三年生の授業で、日本の音楽(日本の歌・歌舞伎・能など)を勉強するかわら、郷土徳島の音楽である阿波踊りにも親しんで欲しいと思い、鳴り物に挑戦してきました。なかなか音が出ず苦労した篠笛、左右の手が別の動きをすることに戸惑った三味線、なかなか息が合わずくり返し練習した鉦・太鼓・竹。初めて音を出す時は、どんな楽器でも苦労があります。けれど生徒達は本物の楽器に触れるのがうれしくて、ねばり強く取り組み、次第に他の楽器と合わせてる楽しさも感じていたようです。

達し、運動会では最高の演奏で幕を閉じることができました。生徒達も大変いい思い出になったと喜んでいきます。



おそろいのハッピーを作り、三年生全員で頑張りました。

●人権コンサート

絵画や小説は目に見える形として作品が残りますが、音楽はそうではありません。演奏ならではの素晴らしさがあります。CDなどがたくさん出回っている昨今ですが、毎年六月に人権コンサートと題し、生の音楽に触れる機会を設けています。

今年、夏まつりや運動会という発表の場にも恵まれました。生徒達は練習に燃えまわりました。また、昨

容は次の通りです。
 ・ピアノ試弾式でのKOM Aアンサンブル(生駒校長先生ファミリー)コンサート
 ・車イスのシンガーソングライター小西達也さん(姫路市)の人権コンサート
 なお、コンサートは学校だけでなく、保護者や地域の皆様にもお知らせしておりますので、今後も機会がございましたら、ぜひ足を運び下さい。



右から庄野龍夫さん(ソプラノリコーダー) 朱音さん(ボンゴ) 孝子さん(ヴィオラダカンパ)

●文化祭

クラスごとの合唱・合奏、そして全校合唱に取り組んでいます。二学期に入ると音楽の時間を利用してこれらの練習に励みます。みんなで合わせるときの真剣な表情、同じパートで教え合う姿、失敗してくやしがる様子、うまくいったときの笑顔など、みんなが一つのものを創る過程は、どれをとってもかけがえのないものです。そして一度しかない本番を迎え、全員が精一杯頑張ります。



校長先生の指揮で全体合唱「マイバラード」

●音楽部

本校の音楽部がリコーダー合奏を始めて十八年目になります。リコーダーの優しくやわらかい音色を日々追求し、努力を重ね、コンクールにも出場しています。MBSこども音楽コンクールにおいては、西日本大会へ過去七回出場し、平成二年度には西日本大会で最優秀賞をいただき、全国大会で日本一にあたる文部大臣賞にも輝いています。今年も十二月に大阪で行われる西日本大会へ、二年連続八回目の出場をします。

学校生活の中での様々な音楽活動を通して生徒と触れ合いながら、私達自身も共に音楽を楽しんでいます。共に創り上げる楽しさや喜びを知り、卒業後も一人でも多くの生徒が音楽を楽しんでくれることを願っています。

●不動中学生の活動記録

◎県陸上カーニバル

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|-------------|----------|-----------|-------------|--------------|------------|-------------|--------------|-----------|-----------|-----------|--------------|----------------|------------|-----------------|----------|-------------|--------------|-------------|-------------|----------|-----------|-----------|----------------|--------------|-------------|-----------------|----------|-----------------|------|-------|-------|-------|------------|-------------|------------|---------|-------|------------------|--------------|--------------|----------|
| 走高跳(四位)井原 理恵 | 砲丸投(六位)木内 誠 | 女子三種競技A | (二位)井原 理恵 | 砲丸投(六位)木内 誠 | 八百M(八位)武市 祐里 | 市陸上選手権大会 | 砲丸投(二位)木内 誠 | 砲丸投(三位)久次米裕介 | 中学校混成競技会 | 女子三種競技A | (二位)井原 理恵 | 徳島市中学校総合体育大会 | 柔道六〇kg以下級 | 優勝 横田昇太郎 | 通信陸上徳島県大会 | 女子三種競技A | (三位)井原 理恵 | 走高跳(五位)井原 理恵 | 砲丸投(八位)木内 誠 | 四国中学校総合体育大会 | 出場 井原 理恵 | 市陸上大会 | 個人 | 走高跳(二位)井原 理恵 | 千五百(二位)武市 祐里 | 砲丸投(三位)木内 誠 | 円盤投(三位)中谷 桜子 | Aブロック | 八百MR(三位) | 木内 誠 | 山内淳也 | 森川真彦 | 大西孝治 | 県中郡市対抗陸上大会 | 砲丸投(八位)木内 誠 | 西署管内防犯球技大会 | 男子バスケット | 準優勝 | 県中新人陸上大会 | 千五百(四位)武市 祐里 | 砲丸投(五位)久次米裕介 | |
| 文化活動関係 | ◎同和問題啓発ポスター | 入選 井原 彩那 | 入選 久次米美穂 | 入選 仁木 麻衣 | 入選 吉田 麻美 | ◎人権作文コンクール | 優秀賞 井原 理恵 | 優秀賞 堀江 真知 | ◎同和問題意見発表 | 優秀賞 井原 理恵 | ◎徳島県学校音楽祭 | 器楽合奏の部 入賞 | ◎MBSこども音楽コンクール | 合奏の部Iの部優秀賞 | (地区代表として西日本大会へ) | 重奏の部 優良賞 | ◎市音楽創作コンクール | 特選 前田 美幸 | 入選 池田 歩 | ◎県音楽創作コンクール | 入選 前田 美幸 | ◎非行防止弁論大会 | 優秀賞 佐野 桃子 | ◎受信環境クリーンコンクール | 佳作 久次米美穂 | 佳作 堀 夏海 | ◎徳島市明るい選挙啓発ポスター | 銅賞 仁木 麻衣 | ◎市科学体験発表・県科学作品展 | 入賞 | 久次米裕介 | 佐藤亜沙美 | 武市 祐里 | 仁木 教陽 | 仁木 孝成 | 山本 真士 | 吉本 真理 | 渡辺 優太 | ◎徳島市置市記念作品展(画)の部 | 佳作 井原 彩那 | 佳作 中谷 桜子 | 佳作 井原 愛美 |

成人おめでとう

平成十四年度

不動町新成人名簿

有米 智史	井内 一郎
石井 宏典	石川 聖子
井原 崇博	上原 大史
太田 修二	大寺 克彦
大原 大	小川 美加
鎌田 健太	川上 夏希
久次米洋佑	楠本 雅彦
郡 達也	近藤 邦安

佐野 貴仁	庄野 明代
菅條 貴義	住野 亜矢子
武市 友樹	田村 純一
永井 敦子	南條 充春
藤高 輝明	正木 美加
宮本 郁望	森井 裕仁
森本 直樹	森本 浩章
森山 弥生	山内由加利
山尾 拓也	吉田 義博
米田 昭登	李 娜

○女子 十二名
○男子 二十四名
◎計 三十六名

堤防の清掃

ことしも不動町歳末の恒例行事が実施された。

十二月七日(土)、八日(日)に町内ボランティア



による鮎喰川左岸堤防の清掃奉仕作業を展開。七日は予定外の午前中に不動学園の職員が中心となり完了。小雨が降ったり



やんだりの中、汗びっしょりとなって能率を上げていた。旧弁天橋北詰めからラグビー場にかけて見違えるように美しくなった。午後は降雨のため作業中止となった。けれども熱心な方々の雨中作業のおかげで、不動橋東の一角が美化完了となった。八日は早朝から堤防全域でそれぞれに作業分担をして開始。刈る人、集める人、拾う人、さらに運搬する人等々、小雨をものともせず、活動した。午後は一応、雨天中止としたものの、空力ン・ピン類の集積分類や、樹木片の運搬など後始末の作業が続けられた。



なお、今回も、不動小・中学校の皆さんが当日までに、空力ン類や紙類を拾い集めてくれていた。そのために草刈機による事故もなく、悪天候下の割には、草刈り作業がはかどった。不動全町あげての尊い奉仕作業のおかげで美しくなった鮎喰川堤防。みんなで力を合わせて汚さないようにしたいものです。ご協力どうもありがとうございました。



伊賀・上野で学ぶ

不動公民館・コミセン運営委員会を中心とした現地実地踏査研修会があった。十一月二十四日(日)、四十人が参加して、上野市(三重県)へ出かけ、歴史学習に励んだ。慶長十六年(一六一一年)伊賀の城主となった藤堂高虎ゆかりの伊賀上野城は、内堀の石垣が約三十mの高さを誇り(日本一)、紅葉に囲まれて見事な姿を見せていた。



上野公園内では伊賀流忍者博物館でも学習した。中世土豪の防衛手段やくノ一の実演を見学。忍者の暮らしと知恵がよくわかり、暗号の読解、天候の予測、古文書の翻訳など忍術のトリックが解明できた。連休中ではあったが、阪神での交通渋滞にも関わらず、楽しい有意義な一日だった。

第26回 徳島市公民館大会に参加して

十月二十四日(木)、徳島市公民館連絡協議会主催の公民館大会が開かれた。二十七回目となった今年も郷土文化会館に市内三十館が参集。日頃の学習の成果を発表し合った。不動はダンス「きよしのズンドコ節」を披露した。女性十人の楽しい踊りに、会場全体からの拍手も加わり好評だった。なお開会式での表彰式で次のお二人が、優秀生として受賞されました。



○ふれあい教室
上田 慶次郎様
○すくらむ学校
宮崎 千代子様

● 飯尾川に架る橋 ●

橋の名	所在地	橋の長さ	橋の中	完成年	備 考
関の橋	不動西町4~不動北町2	35.83 ^m	3.0 ^m	昭34	
一の橋	不動西町4~不動北町2	38.45	5.52	# 30	
飯尾川橋	県道徳島引田線	57.5	12.7	# 38	
飯尾川堰	不動西町4~不動北町2	40.0	3.5	平5	
飯尾川橋	不動本町3~不動北町1	39.16	5.82	昭34	昔のザアザ橋
中筋橋	不動東町4	37.7	2.95	# 8	
宮前橋	不動東町4	39.0	4.6	# 18	
あまさじ橋	県道徳島・北灘線	51.0	16.0	平10	
角瀬橋	不動東5	38.95	4.6	昭8	
喜来橋	不動東5	37.7	2.96	# 8	
JR鉄道橋	不動東5	42.0	5.5	# 8	JR高徳線

● 飯尾川の樋門 ●

樋門の名	所在地	樋門の長さ	樋門を出ると	完成年	備 考
飯尾川第一樋門	不動東4		吉野川		改修工事中
飯尾川第二樋門	春日町	35.0	鮎喰川	昭9	



わたし達が住む不動地域は吉野川と鮎喰川にはさまれた砂洲にある。昔から水に囲まれた地域であったが、農業水利には恵まれなかった。明治後期になって

橋(は)は(北)の(話) その(四)

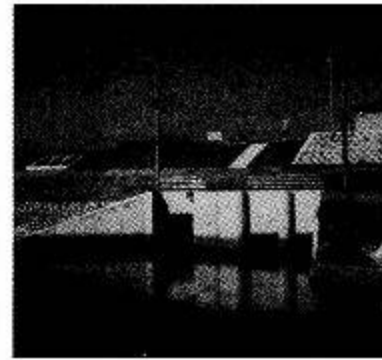
吉野川改修工事が始まったが、地域内では吉野川や鮎喰川の水を利用するよりも、飯尾川の水を求めて堀割造りが行われて来た。大正・昭和・平成と数次にわたる改良工事によって、地域内での貴重な水資源となつてゐる。北井上境の上流から鮎喰川への第二樋門まで、堀割から生まれ変わった飯尾川は川幅三十五米前後の流れで、昭和の始め頃よりコンクリート橋が架つてゐる。町内の皆さん



別表に橋名を紹介しました、覚えて下さい。戦争後に架かつた橋は欄干や歩道が付いていますが、それ以前の橋は欄干がありません。注意して利用をお願いします。(文責 不動文化財保勝会)

市コミュニティまつり

第十二回徳島市コミュニティまつりは、十一月十日(日)津田コミセンが会場でした。開会式のあと、史跡めぐりや即売会、演芸大会があり、多くの人が訪れ、秋の一日を楽しんだ。



市人権教育・啓発研究集会

同推協から人推協に改名されての徳島市人権教育・啓発研究集会が十一月九日(土)左古公民館等で開催された。

不動からも二十四人が参加。「私の人権問題」私にできること」を課題にして討議を重ねた。

参加者それぞれが、自分の意識を点検し、自分のできることを考え話し合つた。

私たち一人ひとりが努力し、差別をなくするように



母子寡婦会の活動について

会長 澤野 幸子

母子寡婦の福祉に関する制度や施策を理解し、充実させていくために市母子寡婦福祉連合会があり、総会、研修会、講習が開催され、私達は、その組織の中で活動しております。

最初は、不動未亡人会として発足し、現在不動母子寡婦福祉連合会という名称になっております。

活動内容としては、「祭壇」の貸出しを行つています。毎年新入学児童に、お祝いの品を届けたり、若手母子の交流の機会を提供するために、親子ふれあい研修会が実施され、同じ立場の方が、心配ごと悩みごとを、話し合つて親睦を深めています。その外には、自立促進を支援するため県立



母子福祉センターで、短期として給食調理、経理、洋裁、パソコン等の講習があります。長期としては和裁があります。技術を身につけた方、ぜひ参加して下さい。

社会経済情勢の大きな変化と共に、母子家庭及び寡婦のおかれてゐる現状は、とても厳しいものがありますが、母子寡婦の皆さん、しあわせづくりのために、共に頑張つていきましょう。